

主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～ 一人ひとりの学習意欲の向上をめざして ～

主体的とは、他に強制されたり、盲従したり、また、衝動的に行ったりしない、自分の意志・判断に基づいて行動するさま（日本国語大辞典）である。これに基づき、「主体的に学習に取り組む生徒」とは、自らの目的（課題）を持ち、それを達成（解決）するために、自ら考え、判断し、表現する生徒と考える。

1 研究の内容

1. 主題設定の理由

平成19年度から21年度までの3年間、「確かな学力ステップアップ事業」に取り組んだ。この事業は、「全国学力・学習状況調査をはじめとする客観的なデータに基づいて児童生徒の学力や学習の状況を把握し、その改善に向けての具体的な対策を通して、すべての児童生徒の確かな学力の定着と向上を図ること」を目的としている。

中教審の審議のまとめには、この「確かな学力」の重要な要素は、①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③学習意欲の3つであることが示されている。

本校では、平成19年度より、教科では「全国学力調査等の結果分析による授業改善（国語科・数学科・英語科）」、学級・学年では「学習規律と学習習慣の確立」「基礎・基本の定着を目指した年3回の Step Up Test」を中心に実践してきた。

本年度は、今までの研究の成果と課題を踏まえ、さらに継続して各教科において指導法の改善や教材・教具の工夫等を行い、生徒一人ひとりの学習意欲を高めることによって主体的に学習に取り組む生徒の育成を目指すために、本テーマを設定した。

2. 研究の内容

- (1) 学習意欲を高めるための「わかる授業」の実践
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指した学習習慣の確立
- (3) 学習の効果を高める学習規律の定着

3. 研究の具体的内容と方法

- (1) 生徒一人ひとりが、意欲を持って学習に取り組むための工夫をする。

○各教科の授業，特に単元の導入において，指導形態・指導方法・教材教具等の工夫をする。

○各学年を単位に授業実践（研究授業）を行う。

(2) 学級・学年において，家庭学習を中心に生徒の学習習慣の確立を促すための工夫をする。

○学習実態調査を実施し，生徒の家庭学習等の実態を把握する。

○年3回の Step Up Test（国語・数学・英語）を実施し，基礎・基本の定着を図る。

(3) 学習環境を整える。

○学習規律の形成を図るための学級指導を実施する。

○Step Up Testの結果に基づいた補充学習実施し，また長期休業中を中心に学習相談日を設定する。

○道徳や体験活動を通して，互いに認め合い学び合う態度を育てたり，学ぶことの意義を考えさせたりする。

II 成果と課題

1 成果

本年度も「全国学力・学習状況調査」に参加し，国語と数学についての調査を実施した。その結果，正答率については，国語A，Bまた数学A，Bのいずれについても，全国と比較し高い水準にあることがわかった。このことは，過去のデータと単純に比較はできないが，いままで継続してきた「全国学力・学習状況調査」結果のデータ分析を行い，本校の生徒が苦手としている領域について，1・2年生の段階から意識的な指導を行うことが，学力向上のために効果的だということであらためて検証することができたのではないか。

これからも，いままでの研究の成果を生かし，「授業の改善」に取り組んでいきたい。

2 課題

研究内容の一つの柱である学習意欲を高めるに関し，大きく改善されているが，まだ学ぶ意欲が足りない生徒が見られる。学習意欲を向上させるため，教材・教具の工夫・活用など教材研究を深めることと指導方法などについて研究を続けることが必要である。また学校では，自主学習への取り組みや学習計画作りなどに取り組んだが，学習の習慣化等について，家庭での協力を得ながら継続していかなければならない。

また，キャリア教育（特に職場体験学習）を実践する中で，生徒に「学ぶことの意義」「なぜ自分は学ぶのか」を，実感させることができるような取り組みも考えていきたい。
(研究主任 丹澤 千明)